

令和7年度 事業報告 グループホーム

7月より10名の利用者様が入居されました。ご家族との面談を通して、ご自宅での過ごし方等を確認し、事前準備をしっかりと行うことで入居されてもトラブルはなく、穏やかに生活されています。しかし、職員の配慮不足で時より混乱される事があり、その都度、対応を考えながら支援を行ってきました。

食事面に関して、朝食・夕食は外部注文を行い、職員が作り提供しました。休日の昼食はお弁当購入や外食へ出かけています。また、年末年始には朝・昼・夜と職員でメニューを考え、提供しました。偏食の方もいらっしゃいますが、工夫して提供することで食べられるなど新たな発見もありました。今後もお弁当買いだけでなく、利用者の方と一緒に調理し、楽しく食事できるよう工夫していく必要があります。

休日は、ドライブや地域散策、レクリエーション、外食を実施しました。しかし、手持無沙汰な時間もあり、休日の過ごし方は今後の課題として挙げられます。

インフルエンザが流行している中、1名の利用者の方がインフルエンザに罹患されました。看護師を中心に、館内の消毒や日々の健康状態の確認等を行うことでグループホーム内でまん延することはありませんでした。また、今年度より協力医療機関になっていただいたタナカ在宅クリニックへ報告することで通院する必要はなく、往診等でお薬を処方していただき、体調不良が長引くことはありませんでした。

令和7年度 事業報告 短期入所

今年度は、グループホームに入居された10名の方の生活が安定する事を優先する為に、受け入れはせずにスタートしました。12月末に生活介護利用の利用者様が緊急的に利用が必要となり、受け入れを行いました。最初は戸惑われる様子がありましたが、職員が関わりを多く持ちながら対応することで安心される様子が見受けられ、現在は、比較的落ち着いて利用することができています。